【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	診断マンモグラフィにおいて乳房トモシンセシスを追加することは推奨される
対象	成人女性
介入	トモシンセシス
対照	マンモグラフィ

エビデンスの強さはRCTは"強(A)"からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
* 各ドメインは"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階
** エビデンスの強さは"強(A)"、"中(B)"、"弱(C)"、"非常に弱(D)"の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性(1～9)

エビデンス総体

								リスク人数(アウトカム率)											
アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標統合値	信頼区間	エビデンスの強さ**	重要性***	コメント
感度向上	後ろ向き	-1	0	0	0	0	0	2822	2233	####	2816	2394	85%	感度	86.9	80.2-91.6	弱(C)	9	
死亡率減少	0																	7	該当論文なし
再発率減少	0																	7	該当論文なし
特異度向上	RCT 2, 後	-1	0	0	0	0	0	####	####	####	####	####	####	特異度	88.4	74.2-95.3	弱(C)	7	
偽陽性増加	RCT 2, 後	-1	0	0	0	0	0	6593	4360	####	5859	3465	####	偽陽性率			弱(C)	4	
読影時間増加	症例対照	-1	0	0	0	0	0	150件			150件						弱(C)	4	同数の症例を用いた読影時間の
撮影時間増加	0																	4	該当論文なし
被曝増加	後ろ向き	0	0	0	0	0	0	711人			711人						弱(C)	4	同数の症例を用いた被曝量の比

コメント(該当するセルに記入)